養護教諭としての資質の向上に関する指標

0段階養成期(着任時)

教員を志す者として大学等卒業時に付けておくべき知識・技能について理解しようとする。

資質・能力:こどもの心身の健やかな成長や健康課題に対する個別的な対応を担っていく態度が身に付いている。

こどもの健康状態及び環境衛生の実態を的確に把握し、こどもの健康の保持増進に関する指導を行う職務について理解している。

| | キャリア段階 | 1段階 | 2段階 | 3段階 | 4 段階 |
|------------------|-----------|---|---|---|--|
| 資質・ | | 基礎形成期 (目安:1年目~3年目) 健康教育を担う(教壇に立つ)者として身に付けて おくべき、教職の基礎・基本を実践しようとする。 | 伸長期 (目安:4年目~10年目) 教育実践に努め、教職に係る基礎的能力を伸ばそう とする。 | 充実期 (目安:11年目~20年目) 教員集団のリーダーとして、自身の専門性を更に向上させようとする。 | 貢献期 (目安:21年目以降) これまでの経験を生かし、幅広い視野をもって学校 運営及び教員の指導に関わろうとする。 |
| 養護教諭に必要な事項(専門領域) | 保健管理 | こどもの心身の健康課題を把握し、教職員や関係機関と連携しながら保健管理を 実践することができる。 | し、教職員や関係機関と連携しながら実 | | 保健管理に係る高度な専門性を生かして、こどもの心身の健康課題の解決に向け的確に対応する組織づくりや、後進の指導的な役割を果たすことができる。 |
| | 保健教育 | 学級担任や教科担当等と連携し、専門性 を生かした保健教育を実践することがで きる。 | 計画的に実践し、評価・改善しながら効 | | 育活動全体で、保健教育の充実を図り、 |
| | 健康相談・保健指導 | こどもの心身の健康課題を捉え、保護者 や関係機関と連携を図りながら、適切な 健康相談を実施することができる。 | | こどもの支援体制の充実を図るために、 教職員や地域などの校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担う ことができる。 | 校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担い関係機関を含めたこどもの支援体制づくりや後進への指導・助言を行うことができる。 |
| | 保健室経営 | 保健室の学校保健活動のセンター的機能 を生かし、こどもの実態を踏まえた保健 室経営を実践することができる。 | 30 m 20 m | 3 2412477 201 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 地域の学校保健担当者をはじめ関係機関との連携・協働を通した保健室経営の推進や後進の指導的な役割を果たすことができる。 |
| | 保健組織活動 | 校内の保健組織活動の重要性を理解し、 企画、運営に参画することができる。 | 校内の保健組織活動において、中心的な 役割を担い、組織の活動の改善を図るこ とができる。 | 保健組織活動において、関係機関との連携を図り、組織的な活動を企画・運営することができる。 | 広域的な保健組織活動の活性化に向けて、学校、家庭、地域、関係機関に対し、指導的な役割を果たすことができる。 |

「指標」は、キャリア段階等に応じて身に付けておくべき教員の資質・能力を示した「道しるべ」です。 上記の専門性に関する指標に加え、共通に求められる資質・能力として、「教員としての資質の向上に関する指標 $(1 \sim 4 \ \mathrm{QR})$ 」と「校長・副校長・教頭・主幹教諭及び主任等に求められる資質・能力に関する指標」とも合わせて、次のステップへと進むための目標やヒントとして活用してください。

教員としての資質の向上に関する指標 (1~4段階)



URL http://www.manabi.wakayama-c.ed.jp/kensyuu ikusei-sihyou/kyouin shihyoul-4.pdf

校長・副校長・教頭・主幹教諭及び主任等に 求められる資質・能力に関する指標



各種指標活用ツール 研修履歴活用ガイド



URL http://www.manabi.wakayama-c.ed.jp/kensyuu ikusei-sihyou/kennsyuu ikuseisihyou top.html